



真宗大谷派 sinsyu otaniha

組 広 報

第二十四

dai 24so kouhou

- 発行日
2011年5月1日
- 第141号
- 発行責任者
組長 紘澤 成互

3 / 2 0

東日本大震災 被災者支援の集い



4 / 1 9

宗祖親鸞聖人 750回御遠忌



宗祖親鸞聖人750回御遠忌法要（被災者支援の集い）に参拝して

第24組 門徒会長 山岡 正幸

数年をかけお待ち受けしてお迎えした宗祖親鸞聖人750回御遠忌法要は、この度の3月11日に起きた東北地方太平洋沖大地震、大津波による激甚災害の現実、さらに東京電力の福島原子力発電所事故の深刻な事態を受け止められ急遽、内局のたび重ねての協議の末の決断として、第一期御遠忌法要は中止とし、真宗本廟において「被災者支援のつどい」としての法会が営まれました。私たちは、今回の「被災者支援の集い」に長浜教区の団体参拝総勢3,500人の内、第24組は380人で、その第1班210人が3月20日にバス5台で参拝いたしました。京都市美術館では、ご遠忌期間中開催されている「親鸞展」にて親鸞聖人のご生涯をうかがう上でもっとも基本的な歴史資料「親鸞伝絵」を鑑賞し、御遠忌弁当で昼食をとり、本廟へと向かいました。全国より僧俗、門徒が多額の懇志をして立派に改修された御影堂の御真影の御前で聖人が著された「正信偈・和讃」を同朋唱和して、被災された多くの方に憶いをいたし厳修されました。

このつどいの開催に際して、真宗大谷派宗務総長は、「被災された方々と悲しみを共にしてまいることが、支援の第一歩であり、このことこそが宗祖親鸞聖人の御精神に適ういま為すべきことであると確信するものであります。そして御遠忌基本理念のもと被災された方々に思いを馳せ悲しみを共にしながらいよいよ「人間回復の一道」を証してまいり御遠忌法要の厳修のもと被災者支援の活動が更に大きな潮流となって全国の御同朋御同行に広がる事を心から念じます。」とのメッセージを寄せられました。

わたしたちも被災地の方々の悲痛なる思いに心を馳せ、自ら為せることを、心がけてまいりたいと思います。

24組 宗祖親鸞聖人 750回御遠忌法要



いのちのふるえ

—人間を生きるとは—

記念講演 芹沢 俊介氏



せりざわ しゅんすけ

現在の家族や学校、子どもの問題を見つめ続け、幅広い分野の評論で活躍中。昨年、真宗本廟において『人間といういのちの相（すがた）—生老病死—』の演題で講演。著書に『存在の大地』『もう一度親子になりたい』など。

とき	平成23年6月12日（日）
・受付	12時20分～
・法要	12時45分～
・開会式	13時30分～
・講演	13時45分～
・閉会	15時45分

会場 長照寺（高月町唐川）

参加費 無料 どなたでもご参加いただけます

当組では御遠忌を標記のとおり勤めます。聖人は弘長2年に90才で往生され、今年750回忌を迎えます。聖人は「本願を信じ、念仏もうさば 仏になる」と浄土真宗の教えを打ち立て、私たちに簡明な教えを残して下さいました。本山の御遠忌に続いて、当組でも同朋の皆様参加の下、このご縁を喜び、「念仏をよろこぶ人」が一人でも多く生まれて下さる事を願いとしています。

記念講演には、芹沢先生をお迎えします。先生は、文芸・教育・家族など幅広い分野の評論で活躍されています。役員の方々はもとより、皆様こそご参詣くださるようお願いしています。

24組 組長 紘澤 成互

今年、浄土真宗を開いた親鸞聖人の750回忌を迎えます。阿弥陀如来の力がすべての人びとを救うという親鸞聖人の教えは、苦しみや悩みを抱えた多くの人々に光明をもたらしてきました。

24組でお勤めする御遠忌法要は、組での聞法のあり方や門徒としての生活を真摯に振り返りたいと考えています。また、東北関東大震災に遭遇した私たちが、この大災害をどのように受け止めていけばよいのかを考える機会としたいと思います。仏法をいただく仲間・サンガとして、1人でも多くの方をお誘いいただき、ご参詣頂きますようお願いいたします。

24組 副組長 美濃部 俊裕

24組 各部会 充実した活動を続けています！部会からのご報告

『見えるものより、見えない物を大切に』 ～社会部会

去る3月6日（日）に、千田の来入寺様に於いて第2回**社会問題研修会**が開催されました。講師は、福井達雨先生です。また、先生と共においでいただいた『止揚シスターズ』の西竹めぐみさんと西村美紀さんのお二人には、福井先生のご講演の合間に、福井先生のおつくりになった歌を歌って頂きました。それらの歌は、止揚学



園で生活される皆さんが主人公の歌でした。喜びの言葉、悲しさの言葉、苦しさや、優しさの言葉など、人間と人間の心をつなぐ歌のようで、会場には優しい雰囲気溢れるすばらしい歌でした。先生の長年にわたる障がい児教育の実践と子どもたちにたいする差別との闘いの運動から、本当に考えなければならない色々のお話を聞かせて頂きました。その中で、特に印象に残ったことは、「見えるものより、見えない物を大切に考えること」や「見えないものを大切にする福祉を」ということでは、人間のぬくもりや温かい人間のつながり、そのような見えないものが消

えてしまって、お金や経営、労働時間などの合理的な見えるものが優先される福祉企業に変わってきたこと、さらに「正義があって愛のない社会」、つまり強い側の人間が正義を主張すれば、弱い立場の人々の人権を平気で侵してしまっている、知能に障がいを持っている人々の人権は大切にされないのが現実である、また、近代的な自動化が進み、橋上駅になった駅よりも、昔の駅の方が障がい者にとっては非常に便利であったことなど、先生のお話からは、普段の生活の中で私たちが真剣に向き合っていなかった問題や、現代社会のゆがみやひずみなどに強く気づかされたように思います。人権が守られているようで、実際は守られていない社会であることも気づかされました。そして、先生のご講演の合間に歌っていただいた歌に、みんなうっとりとして聞き惚れていました。当日は、熱心な参加者で会場もいっぱいになりました。参加していただいた皆さんに心よりお礼を申し上げます。

私たちはサンガを増やしていく役割がある ～婦人会

3月27日午後1時30分より千田の来入寺様において第2回**婦人会研修会**を開催いたしました。研修会に先立ちまして、このたびの東日本大震災により亡くなられた方々に哀悼の意を表し黙祷を捧げました。そして、先ず始めに組長様、同門徒会長様から丁寧なご挨拶をいただきました。その中で親鸞聖人の750回御遠忌法要がこの度の未曾有の大震災で甚大な被害がもたらされ、なおかつ、原子力発電所は極めて深刻な事態が続いている事に鑑み『被災者支援のつどい』に変更されたこと等詳細にお話しいただきました。私達婦人会としても出来ることで協力して行きたいと強く念じたところです。続きまして副組長的美濃部俊裕様より『各寺の婦人会の取り組みについて』お話しいただきました。御遠忌のテーマ『今 いのちが あなたを 生きている』について、深く考える機会を与えて頂きました。浄土真宗の教えが地域や家庭の中で深く根付いて、地域で培われてきた土徳（風土）について、また、お内仏のお給仕は女性によるところが大であるとお話くださいました。



『うちのお爺ちゃんは怖い。でもそのお爺ちゃんが毎日頭を下げている仏さんは 偉いんだな・・・』心を打たれるお話でした。親鸞聖人は、法然上人に出遇われ、本当のものに出遇われた。仏法は、毎日毎日繰り返して聞法の生活をするのが大事である。私達婦人会の役員もサンガを増やしていく役割がある事など今後の指針となるお話を詳しく分かりやすいお言葉で教えて頂きました。有難うございました。 合掌





古田 和弘先生

3月25日(金)午後7時から9時まで長浜別院大通寺にて**壮年研修会**を行いました。今回は大通寺の「しんらん講座」に参加する形で行いました。壮年会役員を中心に22名の方にご参加いただきました。講師に九州大谷短期大学名誉学長 古田和弘氏を招いて、「正信偈に学ぶ」と題して昨年9月から今年6月まで全7回で正信偈について講演されています。今回その一部の「一心帰命～天親菩薩の教え」を拝聴しました。

正信偈は、1 総讚 帰敬(仏を讃え聖人の信心を明らかにされた部分) 2 依経段(仏説無量寿経に依って述べられた部分) 3 依釈段(念仏の教えについての龍樹大師、天親菩薩、曇鸞大師、道綽禅師、善導大師、源信和尚、源空《法然》和尚の七高僧の解釈を讃えた部分)で構成されていることを知り、天親菩薩の教えについて学びました。なぜ一心帰依(他力本願)に至ったのかをわかりやすく教えて頂き、信心が深まりました。

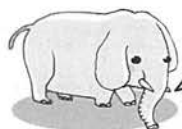
今私は、出遇い難い仏法に出遇う事ができた。



4月10日大音の誓海寺様におきまして**真宗門徒**について研修会(第5回門徒研修会)が開催されました。各寺院より26名の門徒会員が参加しました。講師に23組宿善寺住職 井口光俊氏を迎え『三帰依文(さんきえもん)と帰経式(ききょうしき)』についてお話を頂きました。三帰依文とは出遇い難い仏法に囚らずも今私は出遇うことができました、という意味です。

・仏(ブツ) お釈迦様 ・法(ダルマ) 南無阿弥陀仏 ・僧(サンガ) あらゆる人々と共に集う

阿弥陀如来の真実を私のいのちの中に明らかにしていきたいという願いを感じ取りました。また、帰敬式はまず仏・法・僧の三宝(さんぼう)に帰依することにあります。毎年10月頃、24組門徒会は本廟奉仕を実施しており、その時帰敬式を受けることができます。みなさん、ぜひご参加ください。



各部会でのご報告ありがとうございました。先生のおっしゃる事は、その時は難しい言葉でも、自分自身にとって何か大切なものかもしれません。心に残る言葉を探しに来てください。組内のお寺でお待ちしています。

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌 長浜教区讃仰事業
「東本願寺で花まつり」の無期延期について(お知らせ)



蓮如聖人御影道中 御遠忌の為、
日程変更になっています!

東本願寺で花まつりを楽しみにしていた君へ

東北地方で大きな地震がおきました。津波でうちが流されたり、大切な人が亡くなられたり、たくさんのお友達が、つらく悲しい思いをしています。そんなたくさんのお友達のことを思い、4月4日の花まつりはしないことになりました。楽しみにしてくれていた皆さん、本当にごめんなさい。今、悲しい気持ちでいるお友達や、亡くなられたお友達のことを、私たちはどうすることもできません。でも、思いやる気持ちがあるとすれば、それはとても大切なことだよ。私たちは、たくさん[いのち]にささえられて生きています。私の胸に手をあててみると、心ぞうが「ドクンドクン」とうっているのが分かります。私がそうしようとせずにも、休まずうち続けています。かぞえきれないつながりのなかを生まれてきたいのちが、私の思いをこえて、今を生きているしるしです。いのちが 生きています。楽しみにしてくれていた気持ちを大切に、いつか「東本願寺で花まつり」ができるように、考えていきます。そのときは、また「行くよ!」と言ってくれると嬉しいな。

時間、場所は通常通り

5月13日(金)

景好寺 14:50着
田川文治 16:00着
下余呉区民館 16:50着
平野敏行 17:40着
明楽寺 18:30着

5月14日(土)

林半衛 8:00着
片桐寛之 9:00着
真願寺 9:45着

以降、17日まで各会所にてご宿泊休憩

5月17日(火)

15:40 京都真宗本廟にご到着



その他の各委員会行事予定

5月11日(水) 坊守会 證光寺
午前9時30分～
6月18日(土) 教化委員会幹事会
慶福寺 午後6時30分～
6月19日(日) 婦人会総会・研修会
充滿寺 午後2時～
6月25日(土) 教化委員会
来入寺 午後6時30分～